

静狩の地域に根ざし、地域と共に119年の歴史を刻む



創立 119年

令和3年 12月3日

特別号

TEL/FAX 01377-6-2004

E-mail shizukari-es02@educet04.plala.or.jp

いじめ把握のためのアンケート結果から【R3. 10. 28実施】

■あなたは、今年の4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか？

	6月	10月
ア ある	0	0
イ ない	5	5

■あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか？

	6月	10月
ア 学校の先生	1	0
イ スクールカウンセラー	0	0
ウ 友人	4	4
エ 父や母	4	4
オ 兄弟姉妹	3	3
カ 電話相談	1	1
キ メールやSNSの相談窓口	0	0
ク だれにも相談しない	0	0
ケ その他 (祖父母、おば など)	1	1

■あなたは、今年の4月から今日まで友人が嫌な思いをしているのを見たり聞いたりしたことがありますか？

	6月	10月
ア ある	0	0
イ ない	5	5

■あなたは、「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。

	6月	10月
ア そう思う	5	5
イ そう思わない	0	0
ウ よくわからない	0	0

【考察と今後に向けて】

- アンケートからは「嫌な思いをしている」の回答はなく、教職員の見取りからも「嫌な思い」を抱えて困っている様子は見られません。5人全員で明るく元気いっぱい過ごしていますが、日々の子供たちの様子等は教職員全員で注視していきながら、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めるとともに、思いやりの心など「豊かな心」を育てていきます。
- ➡メタ認知能力を高める指導の充実：「振り返り」の重視（自己分析能力・自己修正能力）
※自己の取組（活動）を客観的に評価させる機会と意図的に設定
- ➡自己肯定感を高める指導の充実：「認める」「ほめる」「励ます」指導支援の重視。
※教師の基本姿勢【傾聴、受容、承認、共感、称賛、助言】
- ➡社会性を高める指導の充実：よりよい言い方、接し方や態度を考えさせる指導支援。
※「相手意識」をもたせる。（相手の立場になって考えることの重要性→「思いやり」へ）

家庭と学校で一体となって、子供たちを見守っていくことが一番大事なことです！